

2024(令和6)年

shin koh

心耕10月号

今や季節はちつあるらしい。
春 夏 猛暑 秋 冬

しんこう

西光寺々報

今月の行事

十二日(土)はじめの一步

午後一時? オ四期スタート

二十七日(日)日曜法座

午後一時? 法話・住取

写経会 十一日(金)

午後一時? 日取後はお茶して

勉強会 壮年会 二十日(土)午後四時?

婦人会 十二日(土)午前十時?

草取り 二十日(日)

午前八時? せひ手伝いを!

寺カス 二十日(日)

午前十時? 歯とお口の健康!

ヨガ 毎週火曜

午後一時? 毎週になりました。

お朝事 毎朝六時半

朝一でしかりと声を出しましょう。

H. ジャクソン・ブラウン・ジュニ

アとゴウアメリカの作家がい

た。大学進学生をする息子に

送った本が世界中でベストセ

ラーにゐっている。その中には、ブ

クモも言ひそうな言葉もある。

・他人と比べてしんどい時は、

昨日の自分と比べなさい。

・子育てで重要なのは、道を

作ってやる事ではない。地図を

与えてやる事だ。

・風の向きを変えられぬ時は、

帆を風に合わせるさい。

法名ニ希望の方

法名を築地本願寺で載け

ます。別紙の築地ツアにお

申込み下さい。

法座案内

十二日(土) 十三時〜十五時

今月より新期スタート!

第四期はじめの一步

入学式と焼香作法

第四期がはじまります。第一回は、焼香の作法を学びます。

二十七日(日) 十三時〜十五時

日曜法座

「塵が塵のままに照らされて
ひかり輝いている」

今月の法語カレンダーより、住職が話をします。

各種ご案内

・お朝事

毎朝六時半〜七時、お勤めをしています。日々のお参り、命日などにお参り下さい。

・草取り

二十日(日) 八時〜九時 是非ご助力を!

・写経会

十一日(金) 十三時〜十五時

・壮年会・婦人会主催の勉強会

壮年会 二日 十一月は六日 十六時〜
婦人会 十二日 十時〜

・探しています! 四月三十日振込の方!

四月三十日に、国分寺台西郵便局にて振り込まれた方で、氏名が無記名の方がおられました。記名の方は既に受領証をお届けしています。未到着の方は連絡を下さい

・Youtube 西光寺チャンネル

新しい紙芝居を作成中!
他の動画はQRからどうぞ!



・門信徒会費 口座振込先

振込番号です ゆうちよ銀行

西光寺門信徒会 00180-0-713424

会費 年間一万二千元

・はじめてのヨガ 毎週開催になりました!

毎週火曜 十三時〜 毎回千円

ヨガマット持参 予約不要

・みんなの寺カフェ



内容 お口と健康の話

講師 永野歯科医院長

日時 二〇日(日) 十時〜十二時半

昼食付 大人五〇〇円 子ども無料

予約制 お寺まで 締切 十九日

・法名ご希望の方へ

十一月十二日に、団地で築地本願寺に行きます。法名をご希望の方は帰敬式を受けられますので、別紙参照の上、お申し込みを

求不得苦

仏教のスタ
ートは、人生思



朝庵に
青虫つかず
夏休み?

考存取

うようにならないという所から始まりました。それを「苦」と言います。苦は分類され八種類に整理されます。これを四苦八苦と言います。八苦の一つが今回ご紹介の求不得苦です。

求めるものが得られない苦の事です。たくさん浮かびませんか？お金、食べ物、ブランド品などの物質的なものや、愛情、名声、支配などの精神的なものもあります。例を挙げればキリがないでしょう。求めるものが得られなければ、ストレスを感じたり、恨みにもなる場合があります。

ややこしいのが、求めるものが得られても、それで満足はしないということ。次の願望が出てきます。

さらにややこしいのが、手に入ったとしても、今度はそれとつかは別れなければならないという苦しみが同時に起きるのです。これを四苦八苦の一つ「愛別離苦」と言います。



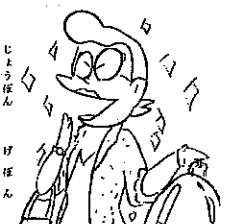
求めることは、本能で煩惱なので止めることはできませんが、今あるものの大切さも考えてみませんか。

こんなところに 仏教用語

身近な仏教用語を紹介しています。

九品

「あの人上品だね」
「下品なことはやめなさい」この上品下品とい



う言い方は仏教用語から来ています。仏教では「上品・下品」と読みます。

浄土真宗では三部経の一つである『観無量寿経』に上品下品の分け方が書いてあります。我が子が父殺しをするという悲劇にあつた母韋提希は、自らも軟禁されて、お釈迦様に救いを求めます。そして、お釈迦様は極楽の様子や阿弥陀仏を観る方法を伝えます。さらに、極楽浄土に往生する者を九つに分類します。これを今回ご紹介の「九品」といいます。分け方は

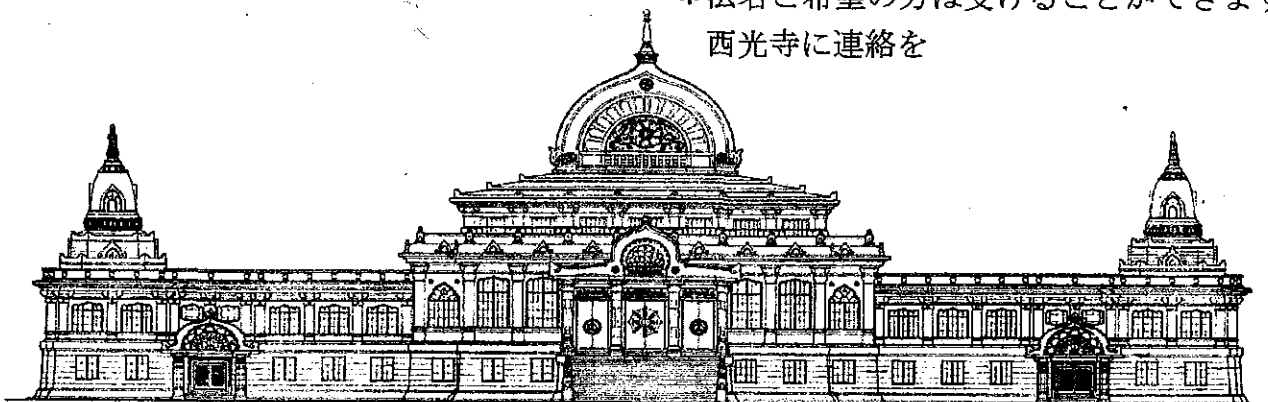
上品上生・上品中生・上品下生・中品上生・中品中生・中品下生・下品上生・下品中生・下品下生です。上品は、大乘の教えを守る人々、中品は小乗の教えを守る人々、下品は悪を犯す人々。その中でも下品下生は五逆十悪を為して、善行など修めることが出来ず、苦が続く人々です。それでも、南無阿弥陀仏と称えることですくわれていくと説かれます。



親鸞聖人は自らを下品下生こそが私であり、私の為の阿弥陀仏の本願であつたと慶ばれます。

築地本願寺へお参りに行きませんか？

*法名ご希望の方は受けることができます。
西光寺に連絡を



築地本願寺外観

日時：11月12日（火）

8：15 西光寺集合、出発

18：00 西光寺到着（予定）

場所：築地本願寺

会費：4,000円

（昼食代、築地本願寺への懇志、保険代含む）

締切：10月31日まで

連絡先：西光寺 Tel 0436-22-7412

✉ saikohji@saikohji.net

*送迎もご相談ください

旅程

8：15 西光寺集合、出発 === 10：00 築地本願寺到着、法要 === 12：00 昼食
（築地本願寺内でお齋） === 午後からは 14：00 の法要に出てもよし、自由行動
もよし（築地市場で買い物よし） === 16：30 築地出発 === 18：00 西光寺到着

ほうおんこう 報恩講とは？

皆様が法事を営むように、親鸞聖人の
ご法事を報恩講と言います。最も大切
な法要です。西光寺は11月12日築地
本願寺の報恩講に参拝をします。

雅楽も加わる盛大な法要に参加してみ
ませんか？

若住職運転のマイクロバスで行きま
す。安全運転を心がけます。

氏名	年齢	生年月日	住所	電話番号	領収書 様 報恩講参加費 として 円 領収しました。 西光寺

仏教を0から学んでみませんか!

浄土真宗はじめの一步 第4期生募集!

浄土真宗の基礎を知りたい、家でお経が読めるようになりたいと言う方におすすめの、1年をかけて基礎を学ぶ講座です。仏教に今まで触れることが無かった、1から学びたいと言う方を対象にしています。全10回の講座を予定しています。

内容：仏教・浄土真宗の教えの基礎

作法

読経（正信偈を中心に）

みなさまのアンケートを参考に

参加要項

参加資格：どなたでも

参加費：1000円（申込時か初回時、テキスト代として）

時間：13:00～15:00

備考：全10回中、8回以上の出席で卒業です。

都合がつかない方は補講も致します。

連絡先：西光寺 0436-22-7412

	日にち		日にち
第1回	10/12（土）	第5回	5/12（月）
第2回	12/12（木）	第6回	6/12（木）
第3回	2025/2/12（水）	第7回	7/12（土）
第4回	3/12（水）	第8回	9/12（金）
第5回	4/12（土）	第10回	10/12（日）
		卒業式	11/23（日）

----- 切り取り線 -----

はじめの一步申込用紙

氏名

連絡先

重誓偈その2 『大経』三十

「離欲深正念成ル為諸天人師ト」は前の三誓をまとめたもので総誓と言われています。大乘菩薩の在り方である自利と利他が表現されています。

次は慈悲と智慧を選択します。「神力演大光不思議な力通達ツラダツ善趣門」と大いなる慈悲を示します。大光とは無碍光のことです。演はのべるで演説や演劇などのようにわかり易く説明する事を含めこの先さきズット寄添う時間も意味しています。通達は物事をハッキリと心得ることで阿弥陀仏から私達凡夫に告げることです。世間では「何々ツウ通」などの表現も有ります。そして「功祚成満足ト天光隠不現」法蔵の修行が完成し、智慧が光り輝き、その威容が十方を明るくして、また天光日月も隠れて現れないとして、

●超日月光を表現しています。これらの慈悲と智慧は法蔵菩薩が私達凡夫の為に選び取った事項なのです。

次は回施と結びの願です。まずは回施の「為衆開法蔵ト説法獅子吼」です。私達凡夫の為に八万四千の宝を開いて広く施すのだ。そして常に私達凡夫の中に居て、名号に係る法を獅子のように大きな声で説き続けるぞとしています。次に「供養一切仏ト得為成三界雄ト」の結びの願

です。「讚仏偈」では「供養一切堅正不却」と諸仏への供養を否定しています。それは求道にまい進するためであるからです。それは「我行精進 忍終不悔」を専らもっぱらにして四十八願を建立したのです。その結果、ここでの「供養一切仏」は十方諸仏の協力十七願での撰取不捨十八願の事業を成し遂げる為です。欲界色界無色界の三界の雄となつて全ての凡夫極濁悪を拯済するのです。この回施と結願の句は私達に向けられた弥陀本の回向なのです。

そして次の句の「如仏無礙智世自在王等此最勝尊」は法蔵菩薩が我が師である世自在王仏のように無碍智であり照らさない所は無く、我が巧みな智慧方便は師と同等であります。こうして法蔵菩薩が阿弥陀仏として成就することを高らかに宣言します。

最後の句は「斯願若剋果念当雨珍妙華」です。この句は成果成の証明を求めています。剋は下剋上の剋で、キザムとも読み厳しい状況を克服して成果をだすことなのです。

この成果に対して三千大千世界が感動振動し全ての人が念念仏を雨華らせるのです。「時に応じて普く地、六種に振動す。天より妙華を雨らして空中に讚めて曰くへ決定して必ず無上正覚阿を成るべし」と証明されるのです。

住職多感

こんなにも気候が変わってしまったものかと、この夏の異様な暑さに驚き、不安を覚えた人も多かったと思う。そして能登の豪雨は年初の大地震と重なって、心を打ち砕かれるような災害から逃れようのない現実になり、どう向き合えばよいのかと苦悶せざるを得ない人が、今、生きておられることを伝えている。

能登の豪雨は秋の彼岸の最中であつた。市原では、猛暑も幾らか和らぎを見せていた頃で、西光寺では三日間の法要を勤めていた。住職として一座小一時間の説教をしたのだが、話たりないことがあつた。ここに少しばかり付け足しておきたい。

三十年近く前、阪神淡路大震災の直後、神戸からの遺骨をしばらく預かつた。おばあさんの遺骨で、家の下敷きになつたという。隣で寝ていたおじいさんはほとんど無傷で助かり、障害を持つ息子と二人で、市原に嫁いだ娘を頼って避難してきたのだと

いう。墓も壊れてしまつて遺骨を納める場所もなく預かることになつた。何度か会ううち、おじいさんが話された。昭和十三年の阪神風水害で家が流された。若かつたから家を建て直した。同じ二十年、空襲で家は焼けた。火の中を、この子だけは死なせたらあかんと、必死で体の不自由な子を背負つてにげた。戦後、また家を建て直した。住職さん、それでも今度はもうあきません。もう力ありませんわ。

聞くしかなない話だったが、神戸に残つた次男さんが家を建て直され、おじいさんと息子さんは神戸に帰られた。尚、亡くなつたおばあさんは東京の生まれで、関東大震災で家族を失い、関西の親戚に引き取られて育つたのだという。

同じ土地に住んで、地縁血縁、幾重にも積み重なつた地域社会があればこそ幾度の災難も越えられた。地域の広さに限りはない。世界中を地域とする人もいる。故郷を遠く離れた市原で、これからどんな人生が待っているのか、いろんな話を聞いておく

ことが大事。ナニシタブナシタブナシタ
たじろることヲ大切。

十一月の行事

- ・六日 勉強会
- ・八日 写経会
- ・十二日 築地本願寺報恩講
- ・十七日 草取り・寺カフエ
- ・二十二、二十三日 報恩講
- ・ヨガ 毎週火曜
- ・朝の勤行 毎日

発行

浄土真宗本願寺派(西)

西光寺

〒二九〇一〇〇二四

千葉県市原市根田

七二三一一



TEL : 0436-22-7412
FAX : 0436-24-1652
HP : <https://www.saikohji.net>
MAIL : saikohji@saikohji.net